

令和5年度 全国研修会のご案内

会 期	令和5年7月29日（土）
会 場	御堂会館（大阪府大阪市中央区久太郎町 4-1-11） 定員 250名 ※現地会場は申込締切前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。
開催形式	ハイブリッド開催（現地会場／ライブ配信）
申込期間	令和5年6月5日（月）～7月7日（金）
参加費	日本診療情報管理士会 正会員・賛助会員 対面 参加 6,000円 日本診療情報管理士会 正会員・賛助会員 WEB 参加 6,000円 通信教育受講中・指定校在学中の方 WEB 参加 6,000円 非会員 WEB 参加 10,000円 ※通信教育受講中・指定校在学中の方および非会員については、WEB参加限定となります。 ※WEB参加の場合、団体での視聴はご遠慮ください。参加申込みは一人1サインをお願いいたします。

振込期限 令和5年7月14日（金）
※お申し込み後、参加費納入をもって参加確定となります。期日までに入金確認がとれない場合はキャンセル扱いとなります。

録画配信 令和5年8月4日（金）～9月4日（月）正午まで
※日本診療情報管理士会会員のみを対象とした録画配信です。視聴には参加申込みおよび参加費の納入が必要です。

テーマ 「改めて考えよう診療情報の価値」 －診療情報管理の理解・活用、危機意識を養う－

時代の移り変わりがあっても診療情報には揺るぎない価値がある。診療情報管理士はどのように診療情報の収集・管理・分析・活用等に携わることで、より効果的にその価値を生かすことができるのだろうか。本研修会では、改めて診療情報の価値を見つめ直し、参加者一人ひとりが新たな気づきを得ることで、明日の業務改善に結びつけられる学びの場としたい。

◆プログラム

時間	内容
	総合司会 桜澤 邦男（東北大学、日本診療情報管理士会 教育委員会） 松木 義明（大阪府済生会中津病院、日本診療情報管理士会 教育委員会）
10:00～10:10	開会挨拶 須貝 和則（日本診療情報管理士会 会長） 来賓挨拶 末永 裕之（日本診療情報管理学会 理事長）
10:10～10:50	講演 I 「診療情報の価値」 講師／須貝 和則（国立国際医療研究センター 医事管理課 課長） 座長／下戸 稔（医療法人社団高邦会 高木病院 診療情報管理部 主幹） ※令和4年度、本会は新体制のもと始動した。我が国唯一の診療情報管理の職能団体として、これまで以上に実務に直結する教育を展開していくとともに、未来に向けて診療情報管理士の進むべき道を切り開く。

10:50~11:30	総 会
11:30~12:30	昼 食
12:30~13:10	<p>講演Ⅱ「診療情報を理解する」</p> <p>講 師／赤澤 宏平（新潟大学医歯学総合病院 医療情報部 教授）</p> <p>座 長／細川 敬貴（千葉大学医学部附属病院 経営企画課長、 日本診療情報管理士会 教育委員会）</p> <p>※データは科学的根拠になり得るが、その解釈を誤れば組織を間違った方向に誘導しかねない。診療情報を取り扱う診療情報管理士はその情報の意味や情報が生成される過程への理解を深める必要がある。</p>
13:10~13:15	休 憩（切替準備）
13:15~13:55	<p>講演Ⅲ「診療情報を活用する」</p> <p>講 師／津本 周作（島根大学 医学部医学科 医療情報学講座 教授）</p> <p>座 長／下戸 稔（医療法人社団高邦会 高木病院 診療情報管理部 主幹）</p> <p>※電子カルテが普及し、院内には様々なデータが溢れているが、その活用は十分だろうか。診療情報管理士がいかに診療情報と向き合い、業務に役立てるかを考える。</p>
13:55~14:00	休 憩（切替準備）
14:00~16:45	<p>シンポジウム／キャリアダイアローグ 「診療情報管理の危機意識と、多職種と共にできる支援」</p> <p>座 長／細川 敬貴（千葉大学医学部附属病院、日本診療情報管理士会 教育委員会） 森藤 祐史（大阪急性期・総合医療センター 医療情報部 診療情報管理室）</p> <p>シンポジスト／各 15分</p> <p>久保 博文（王子総合病院 診療録管理センター 副センター長） 小枝 伸行（八尾市立病院 事務局 次長） 尾崎 真人（長崎医療センター 診療情報管理室 診療情報管理係長） 久保田智子（人吉医療センター 診療情報管理室 主任）</p> <p>ファシリテーションリーダー（教育委員会 ワーキンググループ）</p> <p>島田 裕子（大阪南医療センター、日本診療情報管理士会 教育委員会） 前田 雄介（今村総合病院 診療情報管理室 課長代理） 溝本 圭子（大阪府済生会中津病院 医療情報室 診療情報課 主任）</p> <p>※4年ぶりの対面開催となる全国研修会は、対面参加に加えオンライン参加を併用するハイブリッド開催である。この間、多くの分野で働き方が変わり、医療現場でもオンラインで情報を共有することへの抵抗が低くなった。激変する環境において診療情報の在り方に疑問や問題を抱えた際には、多職種で共に考え、我々診療情報管理士が的確なアドバイスや解決策を提案できる存在でありたい。</p>
16:45~	閉会挨拶 須貝 和則（日本診療情報管理士会 会長）